

1-(1) ぎふ長良川鵜飼を終えて

1. H30年鵜飼観覧船乗船客数 76,330人 前年比 **69.13%**

【参考】H29年乗船客数 110,412人

2. 今年の観覧船運休日数 42日 (キャンセル客数 35,576人)

・ **台風や大雨などの気象条件によるもの (21日 16,405人)**

台風7号、12号、20号、21号、24号、25号による強風や、降雨による中止基準を超える河川水位の上昇。

・ **災害復旧作業によるもの (15日 14,371人)**

豪雨災害により観覧船ドック及び航路が土砂で埋まってしまったため、必要最低限の掘削を実施。

・ **河川環境の変化によるもの (6日 4,800人)**

7月の豪雨による大規模な出水により川の流れが大きく変化し、観覧船乗り場内への水の流入及び速い流れが発生。

→中止基準水位以下であっても、観覧船の出航時と帰航時の安全確保が出来ず、やむを得ず運航を中止。

【参考】過去の乗船客数と中止日数の推移

	乗船客数	中止(キャンセル客)		乗船客数	中止(キャンセル客)
平成24年	105,475人	5日(2,659人)	平成27年	103,927人	10日(7,699人)
平成25年	105,002人	4日(3,050人)	平成28年	108,653人	10日(5,437人)
平成26年	102,714人	9日(6,272人)	平成29年	110,412人	6日(3,975人)

3. その他の今年の出来事

・ **新鵜匠の誕生**

4月1日、杉山英孝氏が宮内庁式部職鵜匠を拝命し、16年ぶりに新鵜匠が誕生。

・ **5隻の鵜舟による鵜飼の実施**

杉山喜規鵜匠が、体調不良により5月21日から8月26日(98日間)まで鵜飼漁を行わなかったため、残る5人の鵜匠により鵜飼を実施。

・ **川原からの鵜飼観覧**

観覧船係留所や航路の復旧作業の間及び観覧船乗り場内の流れが速く観覧船を運休した日の内14日間、初めての試みとして川原からの鵜飼観覧を実施した。

4. 来期に向けて

- ・ 関係機関と協議し、より安全性と安定性が高い観覧船ドック内の環境整備を実施。
- ・ 鵜匠との連携を密にし、災害発生時などにおける鵜飼観覧方法を検討。